

特別賞

都市計画道路 末広高台通線 整備事業 (旭川市)

■表彰対象者：北海道旭川市建設局都市建設部

事業のあらまし

本事業は交通の流れをスムーズにするために急勾配の解消と線形の改良を行い、旭川新道をまたぐ高架橋建設などの交通機能の改善とともに、潤いのある空間となるようデザインし、イメージアップを図った整備を行う。



ゆったりとした歩行空間

事業の効果

本路線は、篠山町における歴史的居住環境の整備の一環として、廃川敷を有効利用し、歴史的文化遺産や自然環境などを結ぶ歩行者専用道路として整備するとともに、市街地における歩行者空間の創出を図る。

- 延長：1,470m
- 幅員：18m～31.5m
- 全体事業費：2,844百万円
- うち街路事業費：2,372百万円
- 事業期間：昭和63年度～平成4年度



沿線にある旭川実業高校への連絡橋（壁面のデザインは同校生徒のデザインによる）



毎年地域の人々が花を植える植樹帯

都市計画道路 城下町線 歴史的地区環境整備街路事業 (兵庫県篠山町)

■表彰対象者：兵庫県篠山町都市計画課

事業のあらまし

この事業は、昭和57年度歴史的地区環境整備街路事業の指定を受けて、廃川敷地及び周辺環境を有効利用するとともに歴史的文化遺産（御徒士町武家屋敷群、篠山城跡、河原町妻入商家家群等）を結ぶ歩行者専用道路として整備したものである。

事業の効果

本路線は、篠山町における歴史的居住環境の整備の一環として、廃川敷を有効利用し、歴史的文化遺産や自然環境などを結ぶ歩行者専用道路として整備するとともに、市街地における歩行者空間を創出した。



自然色玉砂利を利用した特殊舗装を施したみち



ゆとりある空間

- 延長：540m
- 幅員：5～12m
- 全体事業費：147百万円
- うち街路事業費：147百万円
- 事業期間：昭和58年度～平成3年度

都市計画道路 南駅口美保橋線 道路改良事業 (鳥取市)

■表彰対象者：鳥取県土木部



起点側から終点側を望む



ゆとりのある歩道空間



起点より中間点を望む（整備前）



中間より起点側を望む（整備前）

事業のあらまし

本事業箇所である鳥取駅南地区は、昭和27年の鳥取大火災の火災復興整備を契機に、既成市街地に分散していた工場の移転が積極的に推進され、工場の集中化が図られた地区であるが、昭和44年に事業着手された鳥取駅を中心とした連続立体交差事業が本格化する中、当地区を駅北地区と一体となった都心地区として再整備する気運が高まり、昭和53年に「鳥取駅南地区総合交通整備計画」が策定された。本事業はこの計画の一部に位置づけられ、同地区の南北軸形成のための幹線街路としての性格を有するものである。

事業の効果

本事業により、鳥取駅南地区の都心としての都市環境が形成された。特に、沿道地権者が官民境界より控えて建物を建築（セットバック）し、その提供された空間を利用し、潤いとゆとりのある広幅員（5m）の歩道の整備が可能となり、当地区のシンボルとなる街路が形成された。

- 延長：261m
- 幅員：16.0m
- 全体事業費：944百万円
- うち街路事業費：944百万円
- 事業実施期間：昭和59年度～平成7年度

都市計画道路 本城和田線整備事業 (鹿児島市)

■表彰対象者：鹿児島県土木部



中間点より終点側を望む



ライトアップ

事業のあらまし

都市計画道路「本城和田線」は、指宿有料道路の谷山ICと一般県道元鹿児島港線（通称産業道路）を結ぶ新設道路で、施行は県と市が共同で、街路事業、土地区画整理事業、道路事業として実施した。

事業の効果

鹿児島市の外環状道路として市街地の渋滞の減少、また九州縦貫自動車道への乗入時間の短縮により、鹿児島市南部及び薩摩半島南部地域の産業、経済、観光等に寄与している。

- 延長：470m
- 幅員：16.5m
- 全体事業費：15,800百万円
- うち街路事業費：2,400百万円
- 事業期間等：昭和62年度～平成3年度